

鯖江市議会報

第236号

令和3年
2月25日発行

ヤンヤンおじいちゃん
長い間ありがとう
レイファより

撮影場所：西山動物園
写真提供：長友友里 さん

■ 令和元年度決算の審査	2
■ 代表質問	8
■ 一般質問	10
■ 表紙写真の募集	16



鯖江市議会をもっと詳しく！

令和元年度決算の審査

令和2年9月から11月にかけて行われた決算特別委員会の昨年度決算についての審査内容です。予算の執行が適正だったか、多くの質疑が交わされました。

総務分科会

窓口業務民間委託の状況は？

問 平成31年1月から民間委託が始まり、昨年度は2年目。民間委託が始まった当初は、申請から交付まで時間がかかっていたが、現在の状況は。

答 当初は、かなり待ち時間が長いというアンケート意見もあったが、最近は短縮した旨の意見があり、スムーズになってきていると思っている。



民間委託された窓口業務

市税の不納欠損額の縮減を

問 個人市民税をはじめとする市税の不納欠損額は、平成30年度が2,050万円余、令和元年度が2,290万円余。この金額を少なくするために今後、どのように取り組んでいくのか。

答 収納率を上げ、滞納繰越にならないよう取り組んでいる。また、口座振替による納税を推進しており、かなり口座振替率は高くなっているが、一層増やしていきたい。

産業建設分科会

長期的視点での除雪体制の確保は？

問 除雪業者の減少と、不安定な気象条件により、除雪体制の確保が困難になりつつある。長期的な視点での除雪体制の確保のため、こういった対策を考えているのか。

答 建設業者中心で行っている除雪を、それ以外の業者や自治会にも加わっていただき、地域ぐるみの除雪体制を確保するなど、新たな発想を取り入れていきたい。また、消雪設備の整備も進めており、優先度を見ながら、必要なところには消雪設備を導入し、カバーできないところには、除雪機械と業者を確保し、並行して進めていきたい。

水道事業の今後の資金計画は？

説明 現時点で、資金面で行き詰ってはいるが、福井県から購入する県水が高額であるため、日野川流域の3市2町と共同で料金の低減を依頼しており、水道会計の経営健全化を図りたい。

意見 今後人口減少等によりさらに使用水量が減れば、料金引き上げの可能性も出てくる。県水の値下げを強力に交渉してもらいたい。



水道事業の経営健全化を

教育民生分科会

プレミアム付商品券事業費の不用額が大きい、原因は？

説明 消費税率の引き上げによる影響を緩和するための国の事業。非課税世帯・一部の子育て世帯の保護者に対し、販売価格4,000円で5,000円分の買い物ができるプレミアム付商品券を発行した。



令和元年度に発行したプレミアム付商品券

問 対象者数を9,810人と見込んで予算を組んでいるが、実際の申請率は45%以下にとどまり、不用額が2,500万円余となっている。予算設定が甘かったのではないかと。

答 平成26年4月に消費税率が8%に引き上げとなったことを受け、平成29年6月に住民税非課税の方に対し、「臨時福祉給付金」15,000円を支給したが、この時の申請率は90%以上だった。

今回も、対象者全員が申請されても対応できるような予算要求をした。しかし、プレミアムがあっても、4,000円の資金が必要だったため、希望者が少なかったと考える。

区長会の要望を踏まえた議会方針を提出

鯖江市議会では毎年、区長会連合会会長会からの要望をお聞きし、定例会で理事者にいただいています。

今年は、新しい取組として、同会からの要望に対する市の見解を聞き取り、市議会として課題解決に向けた方向性を示した報告書を作成し、令和2年12月21日に佐々木市長に提出しました。

地域の課題解決のため、市議会としても継続して問題意識を持ち、取り組んでいきます。

報告書は、下記の5項目に分かれており、佐々木市長からは、市内部で今後も研究、検討していくとのコメントをいただきました。



佐々木市長に報告書を手渡す帰山議長

報告書の5項目

- 町内会に係る個人情報と市の業務依頼に係る個人情報の提供について
- 市の町内交付金の見直しについて
- その他（地域の後継者育成、人材の掘り起こしなど）
- 町内会の関係業務と地区区長会業務の見直しについて
- 若者の定住と市内の均衡のとれたまちづくりについて

議会ICT化推進特別委員会

鯖江市議会では、令和2年8月に「議会ICT化推進特別委員会」を設置し、タブレット端末を活用した議会運営の在り方を検討しています。

ICT化を推進することで、より効率的で迅速な議会運営・議案審議を目指します。

ICT化でできる! こんなこと!

ペーパーレス化による経費削減

会議資料のペーパーレス化を推進することで、年間2万枚に及ぶ資料の印刷諸経費を削減!

有事の際のオンライン会議の検討

新型コロナウイルスや自然災害などにより、議員が会議場に参集できないことを想定し、オンライン会議を導入!

スケジュールや通知の電子化

現在、FAXや紙でやり取りしているスケジュールや通知を、メールやスケジュールアプリに移行し、議会運営を迅速に!

これまでのICT化の検討

- 8月 議会ICT化推進特別委員会 設置
- 9月 ICT化のイメージの共有
- 10月～ 導入機器の選定
- 12月～ 機器の使用ルールを検討

今後、具体的な活用方法を検討し、令和3年度中のICT化を目指しています!



iPad (アイパッド) を使った会議風景

総合交通・まちづくり推進特別委員会

北陸新幹線（金沢・敦賀間）の工期遅延等に伴う財政支援などを国へ求めることについて協議しました。

昨年12月2日、鉄道・運輸機構から「北陸新幹線の整備工事において、加賀トンネル・敦賀駅などの工事遅れにより、現時点で工期が約1年半遅延している状況で、事業費が約2,880億円増額する見込みである」との事情説明を受けました。これに対し、市議会として「大変遺憾である。一日でも早く敦賀開業をすること、また工事費増額分についての地元負担には到底納得できない」と意見したところです。

また、「2023年春の敦賀開業が1年遅れることになると、福井県並行在来線準備会社には約6億2千万円の追加経費が見込まれるとのことであるが、この追加経費については、地元負担ではなく、国の責任において全額国費で措置すべきである」として、国に対し、以下の意見書を提出することとしました。

市会案第8号 北陸新幹線敦賀開業の遅れに伴う福井県並行在来線準備会社に対する財政支援を求める意見書について

総合交通・
まちづくり
推進特別委員
会で審査

令和5年春の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に伴い、JR西日本から北陸本線（石川県境～敦賀）の運行を引き継ぐため、令和元年8月に福井県並行在来線準備株式会社が設立された。

現在、準備会社では県やJRから出向された12人の職員のほか、本年4月に入社した1期生32人が働いており、令和3年夏には本格会社に移行し、開業時には社員約300人でスタートする予定である。

また、会社経営に当たっては、福井県と沿線7市町、民間2社が5億円を出資しており、今後15億円を増資し、総額20億円の資本金となる。

今般、鉄道・運輸機構は北陸新幹線金沢・敦賀間において工事が遅れていることを公表したが、これに伴い並行在来線の開業が遅れることになると運賃収入を得られないまま人件費や管理費等の掛かり増し経費が必要となるなどの影響が出てくることとなる。そのため、自治体等の追加負担が必要となる可能性に加え、現在策定中の経営計画についても運賃水準の維持や赤字相当分に充当する基金の規模等も見直しせざるを得ない事態となる。

よって、国においては、下記事項について確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 北陸新幹線金沢・敦賀間について、工期短縮を徹底するなど、あらゆる手段を尽くし、開業時期が可能な限り遅延しないよう対策を講じること。
- 2 仮に、新幹線開業が延期される場合には、遅延によって並行在来線会社に生じる開業準備に係る追加経費を国の責任において全額国費で措置すること。
- 3 並行在来線は開業後も非常に厳しい経営環境が続くため、市民の日常生活に欠かせない地域鉄道という観点から、開業後の経営に対しても適切な財政支援を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和2年12月18日

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣官房長官

第427回 12月定例会

【会 期】 11月25日～12月18日(24日間)

【議決内容】 市提出議案16件を可決、8件の決算議案を認定、市会案2件を可決、請願1件を不採択としました。3つの常任委員会の審査内容は、p6～p7に。全議案の議決の詳細はp14～p15に記載しています。

ポイント!

令和元年度 決算の認定

- ・一般会計（議案第78号）
- ・国民健康保険、後期高齢者医療などの4つの特別会計（議案第79号～第82号）
- ・水道事業、公共下水道事業などの3つの事業会計（議案第83号～第85号）

9月定例会で提出された令和元年度決算の8議案について、9月定例会閉会后、決算特別委員会において審査を続けてきました。

既に支出された予算についての審査ですが、その使い方が不適切ではなかったか、非効率的ではなかったかなど、詳細に審査することで、翌年度の予算を、一層適切で効率的なものにしていくために重要な役割を持っています。（⇒p2）

マイナンバーカードの普及策

- ・一般会計補正予算（議案第87号：総務費）

平成27年度から交付開始したマイナンバーカードですが、交付率は伸び悩んでいます。市は、市民の利便性向上や行政の効率化を目指し、各地区公民館での出張受付なども行っていますが、思うように進んでいません。

そんな中、カードの交付事務を効率化するための新システムが導入されます。（⇒p6）

障がいのある方への生活支援

- ・一般会計補正予算（議案第87号：民生費）

12月定例会で上程された3億4,300万円余の補正予算案のうち、9,400万円が施設生活支援事業費（障害福祉費）の増額補正でした。

障がいのある方の日常生活の支援や、就労支援など、多岐にわたるこの事業ですが、こういった要因で増額補正することになったのでしょうか。（⇒p7）

指定管理者の指定

- ・環境教育支援センター（議案第99号）
- ・文化センター（議案第100号）

指定管理とは、公共施設の管理を、ノウハウのある民間事業者や市民活動団体などに代行してもらうことです。令和3年度からの上記2施設の指定管理者の指定について議案提出がありました。

選定委員会で選出された指定管理者候補について、提供されるサービスの水準が確保できるか、施設の管理者として適切か、市議会の議決が必要になります。（⇒p6、p7）



環境教育支援センター

総務委員会

【議案第87号】 令和2年度鯖江市一般会計補正予算(第8号)

マイナンバーカード予約交付管理システムとは？

説明 現在、マイナンバーカードの受取予約は、電話により行っているが、このシステムを導入することにより、市民がインターネット予約入力サイトで、受付空き時間の確認や、夜間・休日においても受取予約の申込を行うことができるようになる。

問 高齢者等インターネットを利用できない人への対応は。

答 電話によるマイナンバーカード受取予約は、今までどおり継続する。会社勤めなどにより、日中、電話で予約することが困難であった方々が、インターネットで夜間や休日においても受取予約の申込みを行うことができるようになる。

問 このシステムの導入により、窓口におけるマイナンバーカード受け取りのスピードアップは図られるのか。

答 今回のシステム導入は、急速なマイナンバーカード交付事務量の増加に対応するため、全額国の補助により行うもの。その中で、会計年度任用職員を1人増員して1日の受付枠を増やす予定であり、今までよりスムーズに受付業務を行うことができるようになると思っている。



マイナンバーカード普及につながるか

産業建設委員会

【議案第87号】 令和2年度鯖江市一般会計補正予算(第8号)

公共施設の計画的な維持管理は？

問 ふれあいみんなの館・さばえの空調設備の修繕とのことだが、耐用年数を過ぎた設備を修繕し続けるよりも、更新を考えるべきでは。

答 設備更新が必要だと考えてはいるが、現在の全館集中管理型での更新費用は、非常に高額となるため、各部屋に単独で設置する方式に変更することで費用を抑制できないか検討している。

問 市は、公共施設の長期的な維持管理計画を立てている。他の施設でも修繕や設備更新が必要であろうから、総合的な視点で設備の修繕・更新も考え、計画的な予算措置をすべきと考えるがどうか。

答 一時期に多額の費用が集中することのないよう、予算の平準化なども考えながら、適切に施設管理を行いたい。

【議案第99号】 鯖江市環境教育支援センターにおける指定管理者の指定について

環境教育支援センターの指定管理業務は？

説明 選定委員会で、市民への環境教育能力と、過去の指定管理の実績、そして、市も推進するSDGsの取組が高く評価された特定非営利活動法人エコプラザさばえを指定する。

問 地球環境がより一層大きな問題とされ、全市民を挙げて環境問題に取り組まなくてはならないという現状において、環境教育支援センターで行われている環境教育の推進と環境保全活動を、もっと大きな枠組みで取り組む必要があると考えるがどうか。

答 環境保護・保全の意識を、市民の中から湧きあがらせること、すなわち「環境市民」の育て上げが重要だと捉えており、市役所だけではなく、指定管理者と協調しながら、環境意識の醸成に取り組んでいる。今後も、指定管理者と話し合いながら、もっと大きな視点で環境を捉え、効果的な事業展開を検討したい。

教育民生委員会

【議案第87号】 令和2年度鯖江市一般会計補正予算(第8号)

施設生活支援事業費(障害福祉費)の大幅な増額補正の理由は？

問 当初予算12億3,500万円の事業費に対し、9,400万円の増額補正となっているのはなぜか。

答 この事業は、障がいのある方の入所・通所先での日常生活支援や、生産活動・就労の機会の提供・支援など、多岐にわたるサービスが含まれている。特に増えているのは就労継続支援B型(※)で、当初見込みより6%近く増えている。精神に障がいを持つ利用者が予想以上に増加したため、補正額も大きくなった。

※ 就労継続支援B型……

企業などで働くことが困難な場合に、障がいや体調に合わせて自分のペースで働く準備をしたり、訓練や仕事を行うことができる福祉サービスのこと。A型とB型があり、B型はA型よりも労働時間の縛りが少ない。



耐震工事中の文化センター

【議案第100号】 鯖江市文化センターにおける指定管理者の指定について

過去の指定管理者には不適切な事案があったが、再発防止策は？

説明 選定委員会で、(特非)カルチャーネットさばえが選定された。今回、年4回内部監査を行うとの候補者からの提案を受け、「特別モニタリング」の体制を追加した。また、12月には外部委員によって組織する「運営評議会」を開催し、必要に応じて指導していく体制を、また年度末には「事業評価委員会」を開催し、公平性を保って事業実施がなされたかどうかの検証を行う体制を整えた。今後このような形で適切な施設運営を図りたい。

要望 かなり強化したチェック体制を取るということで、議会としても、報告・承認に係る体制づくりをしていきたい。また当委員会として、内部の管理、監査、チェック体制を強化し、議会への報告を行うことについて、書面上に残すことを要望する附帯決議とした。

答 事業年度終了後に、事業報告がなされると思うが、その資料とあわせて議会に報告・説明をしていく。また、指摘を受けたことについては、協定書等の書面を取り交わし、確実に履行していきたい。

請願の審査内容

「75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書」

少数意見

・医療費窓口負担2割化により、後期高齢者の方の負担増が懸念されるため、趣旨には賛成する。

多数意見

- ・令和4年度以降、団塊の世代が後期高齢者に移行することにより、後期高齢者医療費が急増し、現役世代の負担が増えることが懸念される。
- ・75歳以上の高齢者に対し、一定の基準で負担割合を増やすことは、医療費の現状を考えると、やむを得ない。
- ・「検討中止を求める意見書」とあるが、検討や話し合いは進めていくべきであり、負担割合を増やさなくてすむような方策等を、前向きに検討していくことが必要。

採決

不採択

ここが聞きたい！

代表質問



※ 新型コロナウイルス感染予防のため、時間を1人45分に制限して実施しました。

代表質問とは… 市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。
12月定例会において、所属議員3人以上の会派が質問できます。



P8	市民創世会 代表 木村 愛子 議員 きむら あいこ	1 前市長の継承と「まち」「ひと」について 2 「新たな日常」を見据えた総合戦略の見直しについて ほか
P9	市政同志会 代表 福原 敏弘 議員 ふくはら としひろ	1 令和3年度予算編成について 2 経済回復への施策効果について ほか
	清風会 代表 林 太樹 議員 はやし たいき	1 市政方針について 2 社会福祉対策について ほか

YouTubeで動画配信中！



市民創世会
木村 愛子 議員
きむら あいこ

新市長の施策方針について

問 選挙時に市民の要望で高かった福祉・教育施策について市民の負託にどう応えるのか。

答市長 福祉について、新子育て支援センターや学童保育の環境整備に取り組み、公立保育所の認定こども園化や民営化も進めていく。また、障がい者の相談体制や福祉サービスの充実を図り、人生100年時代のため高齢者が社会参加できる居場所の確保と活躍の場を広げることなど、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指していく。教育については、教育大綱を基本に教育委員会と連携を図り、市民が安心して学べる環境の整備、ふさと鯖江に自信と誇りを持てる教育を推進する。

問 冬場の学校におけるコロナ感染症対策は。

答教育長 温度調整に注意し、可能な限り常時窓

を開けるなどして換気を行う。中学校においては、受験シーズンを迎えることもあり、授業を確実に進める。冬季スクールバスは密を避け、1台の乗車人数を減らして運行する。

問 JR鯖江駅前、駅周辺のまちづくりに具体的に動き出すべき時では。

答市長 総合的な2次交通網の構築に向け課題整理を行った「市交通ビジョン」では、JR鯖江駅を核としたまちづくりに視点を置き、東口改札や駅東駐車場の再整備を関係部署横断で検討していくこととしている。

問 コロナ禍で全国的に女性の自殺者が増えている。市の現状と今後の支援は。

答 今年は9月末現在9人で、昨年の年間自殺者数に達している。月2回の公認心理士、年4回の精神科医師による対面、電話での相談を11月末で12回行い延べ27人が利用。コロナ禍で、精神的な不調を来す人が増えると思われ、今後も相談できる場として継続し、関係機関と連携して支援したい。



市政同志会
ふくはら としひろ
福原 敏弘 議員

令和3年度予算編成について

問 令和2年度の鯖江市一般会計は、かつてない規模の268億円余。その財源の主なものは市税、地方交付税および消費税交付金等である。この財源が減少すれば、様々な年度計画、事業に支障を来すこととなる。市では来年度予算編成の中で、経常的経費を5%、政策的経費は10%カットの方向性を打ち出しているが、その削減はどのような現実、状況を鑑みての設定なのか、その狙いとするところはどこなのか。

答市長 新型コロナウイルスの影響による経済の低迷、消費の落ち込みにより、鯖江市では、歳入において税収で約6億5,000万円の減収を見込むとともに、地方消費税交付金の減額、使用料等の減少により、臨時財政対策債を含めた地方交付税での補填を考慮しても約2億5,000万円程度の減収を見込んでいる。

また、歳出においては、約2億1,000万円の増を見込んでおり、本年度と同等の2億4,000万円を財政調整基金から繰り入れすると仮定すると、トータルで約7億円程度の財源不足が予想される。このような厳しい状況を鑑み、既存事業全ての見直しを行い、必要な事業の再構築、財源・人的資源の有効活用に取り組むことを狙いとして、予算削減の方針とした。

来年度予算編成への市民理解について

問 市民への説明責任と透明性の向上を図ることや地域経営を進める上で市民との信頼関係を構築するためには、行政の透明性の一層の向上を図り、分かりやすく開かれた市政運営を行うことが重要。市民への予算説明は。

答市長 今年度のコロナ禍の中での事業の実施については、多くの団体の皆様からご相談、お問い合わせをいただき、事業の中止、縮小等に至る中で、本格的にコロナの影響を受ける来年度については、予算的に大変厳しい状況になることをお伝えしている。コロナ禍の中、チーム鯖江でこの難局を乗り越え、「笑顔があふれる めがねのまちさばえ」をつくっていききたい。



清風会
はやし たいき
林 太樹 議員

新市長の市政方針について

問 ウイズコロナの新時代における市政運営の抱負は。

答市長 牧野前市長が就任した16年前は、合併問題で市政が混乱し、福井豪雨で甚大な災害に見舞われ、財政調整基金残高が2億円を下回る非常事態であった。コロナ禍で全世界が緊急事態に陥っている中、市民の命と企業経営を守るためスピード感をもって決断対応する。持続可能な自治体経営を念頭に経済・福祉・財政をしっかりと回し、コロナ感染等の諸課題に対応し、乗り越えていくため、市民との対話を大切にして、職員一丸となって活気あふれる鯖江市を築いていきたい。

問 ICT化のデジタル社会の推進は。

答市長 本市のデジタル化推進として、紙からデータへの業務手順の転換、押印廃止等の制度改革

を始め、タブレットやクラウド、オープンデータ等を活用した新たな仕組みの創設に全職員で取り組んでいく。市民との情報共有化を図るため、まずは議会と行政との情報共有手段の確立に連携していきたい。

問 良質な雇用と税収基盤の確立のため企業誘致のトップセールスの取組は。

答市長 市内企業の流出防止に努め、本市に合う業種業態の企業誘致にトップセールスを含め、積極的に取り組むたい。

社会福祉対策について

問 コロナ禍での生活困窮者の早期発見の取組は。

答 多様な問題を抱え生活に困っている方を早期に発見し支援するため、自立促進支援センターを設置している。民生委員・児童委員などから相談を受け、関係機関と連携調整を図りながら、早期発見、自立支援に努めている。また、庁内関係課が連携しながら「生きる支援庁内連絡会」を随時開催し、早期発見・情報共有し、生活保護担当との連携対応に努めている。

ここが聞きたい！

一般質問



※ 新型コロナウイルス感染予防のため、時間を1人45分に制限して実施しました。

一般質問とは… 市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。
議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



P10	え ば た か ず た か 江端 一高 議員 1 熊対策を含む鳥獣害対策について 2 公園の有効活用について ほか	P12	に お ひろ き 丹尾 廣樹 議員 1 市長選について 2 機構改革について
	え ん ど う た か し 遠藤 隆 議員 1 経済支援策について 2 次世代型行政サービスについて ほか		お く む ら よ し の り 奥村 義則 議員 1 新型コロナウイルスワクチン接種に係る 実施体制づくりについて ほか
P11	さ さ き か ず や 佐々木 一弥 議員 1 「笑顔があふれる めがねのまちさばえ」づくり について	P13	は や し た と よ ひ こ 林下 豊彦 議員 1 住宅支援について
	だ い も ん よ し か ず 大門 嘉和 議員 1 市長の市政への取組について 2 鯖江市交通ビジョンについて		す が は ら よ し の ぶ 菅原 義信 議員 1 新型コロナ第3波襲来への対応について ほか

YouTubeで動画配信中！



市政同志会
江端 一高 議員
え ば た か ず た か

「熊対策を含む鳥獣害対策」

答 例年になく熊がまさにその場ににいるという事象も踏まえて、鯖江署の協力を仰げるよう打合せを行い、市捕獲隊等との会議、捕獲おりの設置を行った。また、熊情報の速やかな共有、餌となる栗、柿の適正管理、茂みの刈払いなど市民ができる対策の啓発、職員と捕獲隊でのパトロールも行った。

「大谷公園の有効活用」

答 市民団体等による親子での植樹体験や野外ヨガ体験など、自然を活用したイベントの場として活用を図っており、本年度は駐車台数を35台から48台へと13台分増設し、

公園の利便性向上を図った。トイレ設備の充実や親子で一緒に遊べる遊具の増設は、利用状況や費用とその効果を見極めながら、また、バーベキュー施設の設置については、設置の可能性について検討していく。



実のなる公園 大谷公園

「滞在型観光への取組」

答 来訪前や来訪時の有効なアプローチとして、紙媒体に頼らないSNSやデジタルを有効活用したPRを中心に研究し、より効果的な情報発信を検討していきたい。



公明党
遠藤 隆 議員
えんどう たかし

コロナ禍における経済支援策について

問 コロナ禍において国民生活に目を向けると、通常は困窮するような状態でなくても、緊急事態宣言を受けて経済活動が広く停止・抑制され大幅に収入が減少し、大きく行き詰まってしまったフリーランス・非正規雇用者・小規模事務所等への今後の経済支援策は大丈夫か。

答 本市は事業者の皆様により独自の「がんばる事業者応援給付金」を実施。資金調達では、県が「経営安定資金〔新型コロナウイルス対策分〕」として、3年分の利子を全額補給をした。

非正規雇用者への支援については、国が

雇用調整助成金の特例措置として、雇用保険の被保険者でない労働者の休業に対しても支給対象とした。

本市としては、今後ハローワークと密接に連携する中で、正規雇用者としての就職につなげる側面支援に努めていく。



コロナ禍における経済支援策は



市政同志会
佐々木 一弥 議員
ささき かずや

「笑顔があふれる めがねのまちさばえ」づくりについて

問 北陸新幹線の工事が1年半遅れるとの突然の報道があり鯖江のまちづくりへの影響が心配だが、佐々木市長が描く「笑顔があふれる めがねのまちさばえ」とはどのような鯖江なのか。

答 身の丈に合った財政運営、市民目線、生活者の視点に立った政策展開など、牧野前市長の評価すべき取組を継承しながら、持続可能な自治体経営を念頭に、経済、福祉、財政の3つをしっかりと回し、市民の皆様との協働による知恵と工夫で、鯖江のまちと人が元気になる鯖江を構築していく。

現在、工事の遅れによる市内の工事への影響はないが、今後発生する並行在来線会社のかかりまし経費については、県や沿線市町と連携し、地元負担としないよう国に強く求めている。

鯖江市の交通ビジョンに基づいた二次交通網の構築については、その時期を注視しながら検討を進めていく。



建設中の北陸新幹線(鯖江市区間)



市民創世会
大門 嘉和 議員
だいもん よしかず

「新市長の政治姿勢を問う」

問 市長が感じる鯖江のよさ、強みとは。それをさらに生かすとは。

答 市長 鯖江の最大の魅力であり強みは、人であり市民力であると感じている。その市民力を最大限に発揮していただくため、市民の皆さん自らが事業を企画立案、実行していく仕組みを作り、市民が活躍できる場を創出していく。

問 佐々木カラーをどのように出していくのか。

答 市長 今現在、新年度の予算編成作業に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染

症の拡大が収まらないという中で、何よりも優先すべきことは、市民の生活を守るための感染症対策に万全を期することだと思っている。

さらに、ウィズコロナ、アフターコロナを意識しながら、すぐにやるべきもの、そして未来を見据えて時間をかけて取り組むべきものなど、メリハリをつける中で私のカラーを出していきたいと考えている。

そのほかの質問

〇つつじバスの再編について



鯖江市の未来は



市民創世会
丹尾 ひろき
議員

(市長選について) 新市長に対する質問

問 三つどもえの厳しい戦いに勝利されたが、市政を担うに当たって、今後市民とどのように向き合う考えか。

答 市長 選挙後、すぐにノーサイドを宣言。市政を推進するに当たり、私を応援いただいた方、他の候補者を応援された方を何区別なく、分け隔てなく、1人でも多くの市民の皆様から御意見をお聞きしながら市政運営に全力投球していく。

問 立候補に当たり、牧野市政の継承を主張していたと記憶しているが。

答 市長 牧野市政の良いところはしっかりと引き継いでいくし、そうでないと思われるところは改善していく。政治手法も、参考にさせていただくことは多い。多くの先輩方の教えを踏まえ、市民の信頼が得られるよう全力で職責を全うする。

問 自動失職を選択することで補欠選挙をなくした。なぜ、最後の最後まで議員を辞めなかったのか、その理由は。

答 市長 市議会議員として最後まで仕事をすることが、令和元年6月の市議会議員選挙で私に投票された1,771票への恩返しであると考え、自動失職を選択した。



公明党
奥村 よしのり
議員

市長が目指す「笑顔あふれるさばえ」とは

問 佐々木新市長が目指す『笑顔あふれるさばえ』とは具体的にどのようなことか。

答 市長 経済、福祉、財政の3つをしっかりと回し「まち」「ひと」を元気にすることで鯖江に住んでいてよかった、住みたいと思ってもらえるような、日常生活の中で笑顔があふれるまちを目指したい。具体的には新幹線を見据えた交通体系の整備・観光政策、デジタル技術活用で地場産業、農業の後継者対策、未来の鯖江を支える教育、ソフト・ハード両面にわたる子育て環境整備、高齢者や障がい者が自分らしく生きるための福

祉施策、健全財政運営など多くの課題解決に向けた取組と、安全安心で幸せに暮らせる持続可能な「めがねのまちさばえ」の確立に向けた、SDGsおよび総合戦略の確実な推進。『笑顔あふれる鯖江』の実現に向け、市民の立場に立って知恵を絞りメリハリをつけ実施していきたい。



笑顔があふれるまちさばえとは

困窮者への住宅確保支援策は

問 鯖江市の公営住宅では、住宅確保要配慮者に対しても所得基準や連帯保証人が必要だが、今後それらの条件に対してもっと柔軟に対応できないか。

答 確保が困難な連帯保証人や、それを補う債務保証会社については他市町の状況を十分踏まえながら、導入の可否について慎重に対応する。

問 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進し、福祉の向上と豊かで住みやすい地域づくりを目指す居住支援協議会について、鯖江市ではどのように取り組むのか。

答 要配慮者の自立的生活確保には、行政や福祉団体、不動産会社による包括的な見守りや相談体制が必要である。鯖江市も、福井県居住支援協議会や関係団体と連携を取りながら取り組んでいく。

要望 コロナ禍の中で、生活支援が必要になる生活困窮者はますます増えてくとも考えられる。

鯖江市や丹南地区での居住支援協議会の設立を強く要望する。



住宅セーフティネットの根幹である市営住宅



清風会
林下 とよこ
議員



菅原 義信
日本共産党
議員

市としてのコロナ禍第3波への対応は？

問 感染者数は福井県においては小康状態だが、全国的には大量発生している。今後深刻化した場合に備えて、検査、隔離、入院の体制はどう図っているのか。年末・年始などで人との接触が増えるが、疑わしい場合や自ら希望しての検査はどうするのか。

答 県全体として273の医療機関で、PCRと簡易抗原検査を1日3,690件できる体制になっている。県としての入院体制は段階ごとに必要病床数を確保する立場からICU24床を含め215床、宿泊・療養施設としてホテルの借上げで145床。合計で360床を確保している。

検査の情報は県の受診・相談センターで得られる。行政検査の場合は原則無料。ただし、初診料として医療保険適用で2千円～3千円が必要。任意の場合は全額自己負担で1万5千円～1万9,500円。

問 地場産業と雇用を守る立場から国に対して持続化給付金、雇用調整助成金の延長や再給付を求めるべき。

答 市内事業者へのアンケートでもそうした声が非常に強いと受け取っている。

問 前市長の時から言ってきたが、市の職員数があまりにも少ない。増やすべきだ。

答 市長 今の正職員400人という数は少ないと思っている。全体を見ながら検討したい。

意外とおもしろい！ 議会^{ぼうちょう}の傍聴！

本会議はどなたでも傍聴することができますが、日程によって内容が異なります。興味がある内容の日に、ぜひ傍聴にお越しください。

1日目は、市長による議案の提案理由説明があります。

2日目以降は、議員が、市に対して市政の考え方を問いただす代表・一般質問が行われます。今号のp8～13には、前回の定例会の代表・一般質問の抜粋を掲載しています。

最終日には、3つの常任委員会による議案の審議結果が、各委員長から報告されます。

※現在は、新型コロナウイルス感染症予防のため、間隔をあけてお座りいただいています。入室の際はマスクを着用いただき、発熱等体調不良の場合は、傍聴をご遠慮ください。

丹南CATVでも！

鯖江市議会の本会議は、丹南ケーブルテレビで生中継・録画放送を行っています。

YouTubeでも！

また、YouTube（ユーチューブ）の鯖江市議会チャンネルでも、同様に動画を配信しています。



ぜひご覧ください！

越前市議会との行政懇談会の開催

鯖江市議会と越前市議会による行政懇談会が1月29日に行われました。この行政懇談会は、両市議会の議員で広域的な課題を協議するため、平成8年度から毎年行われています。

今回の行政懇談会では、両市議会の正副議長、各常任委員会および特別委員会の委員長、各会派の代表者などが出席し、北陸新幹線金沢敦賀間の整備に伴う課題への対応や広域圏観光を見据えた交通ネットワーク構築などを議論し、丹南地域における諸問題や今後の対応などについて意見を交わしました。



懇談会の風景

議案と結果

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
------	----	-------	------

【8/19提出・11/25議決】

議案第78号	令和元年度鯖江市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多数)
議案第79号	令和元年度鯖江市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多数)
議案第80号	令和元年度鯖江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多数)
議案第81号	令和元年度鯖江市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多数)
議案第82号	令和元年度鯖江市総合開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定
議案第83号	令和元年度鯖江市水道事業会計決算の認定について	決算特別	認定
議案第84号	令和元年度鯖江市公共下水道事業会計決算の認定について	決算特別	認定
議案第85号	令和元年度鯖江市農業集落排水事業会計決算の認定について	決算特別	認定

【11/25提出・同日議決】

議案第93号	鯖江市長等の給与および旅費等に関する条例の一部改正について	総務	可決
議案第94号	鯖江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総務	可決(多数)
市会案第7号	鯖江市議会の議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について	—	可決

【11/25提出・12/18議決】

請願第1号	75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書	教育民生	不採択(多数)
-------	--	------	---------

議案第87号	令和2年度鯖江市一般会計補正予算(第8号)	総務・産建・教民	可決
議案第88号	令和2年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	教育民生	可決
議案第89号	令和2年度鯖江市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	教育民生	可決
議案第90号	令和2年度鯖江市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	教育民生	可決
議案第91号	令和2年度鯖江市水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	可決
議案第92号	鯖江市個人情報保護条例の一部改正について	総務	可決
議案第95号	鯖江市諸収入金督促手数料および延滞金徴収条例の一部改正について	総務	可決
議案第96号	鯖江市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	教育民生	可決
議案第97号	鯖江市道路占用料徴収条例の一部改正について	産業建設	可決
議案第98号	鯖江市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	産業建設	可決
議案第99号	鯖江市環境教育支援センターにおける指定管理者の指定について	産業建設	可決(多数)
議案第100号	鯖江市文化センターにおける指定管理者の指定について(附帯決議あり)	教育民生	可決(多数)
議案第101号	市道路線の認定について	産業建設	可決

【12/18提出・同日議決】

議案第102号	令和2年度鯖江市一般会計補正予算(第9号)	教育民生	可決
市会案第8号	北陸新幹線敦賀開業の遅れに伴う福井県並行在来線準備会社に対する財政支援を求める意見書について	—	可決

賛

否

○…賛成、×…反対、欠…欠席をあらわします。

	林 下 豊 彦	江 端 一 高	大 門 嘉 和	空 美 英	山 本 敏 雄	佐 々 木 一 弥	福 原 敏 弘	帰 山 明 朗	奥 村 義 則	石 川 修	林 太 樹	遠 藤 隆	木 村 愛 子	平 岡 忠 昭	丹 尾 廣 樹	末 本 幸 夫	水 津 達 夫	玉 邑 哲 雄	菅 原 義 信	議員名 議案
--	------------------	------------------	------------------	-------------	------------------	-----------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------

	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	議案第78号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	×	議案第79号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	議案第80号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	議案第81号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議案第82号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議案第83号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議案第84号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議案第85号

	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議案第93号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	議案第94号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	市会案第7号

↓意見書は提出せず、「不採択」とすることの賛否

	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	請願第1号
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第87号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第88号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第89号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第90号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第91号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第92号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第95号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第96号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第97号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第98号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第99号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第100号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第101号

	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第102号
	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市会案第8号

※帰山議長は採決に加わっていません。

【次回】 第428回 3月定例会日程(予定)

新型コロナウイルス感染症予防のため、議員席・理事者席の一部にアクリルパネルを設置するとともに、傍聴席は、間隔をあけてお座りいただくなどの対応をとっております。

来場の際はマスクを着用していただき、発熱等体調不良の場合は、傍聴をご遠慮ください。

日 付	会 期 日 程	CATV放送予定
2月17日(水)	10時 本会議(提案理由説明、議案先議、委員長報告・採決)	生放送
19日(金)		18時 再放送(2/17本会議分)
3月 3日(水)	10時 本会議(質疑、一般質問)	生放送
4日(木)	10時 本会議(一般質問)	生放送
5日(金)	10時 本会議(一般質問)	生放送
8日(月)	9時30分 常任委員会	—
9日(火)	9時30分 常任委員会	—
10日(水)	9時30分 常任委員会	18時 再放送(3/3本会議分)
11日(木)	10時 特別委員会	18時 再放送(3/4本会議分)
12日(金)		18時 再放送(3/5本会議分)
18日(木)	10時 本会議(委員長報告・採決)	生放送
19日(金)		18時 再放送(3/18本会議分)

※ 進行状況により時間の変更が生じる場合があります。

※ 委員会のCATV放送はありません。

あなたの写真で表紙をかざってみませんか！

あなたの写真が表紙になります！ 人物、風景、行事など、どんなものでも構いません。
鯖江市内で撮影された素敵な写真をご応募ください！



今回の応募作品の一部



長友友里 さん



マーク さん



応募する写真

鯖江市内で撮影された人物・風景・行事などの写真

応募方法

住所・氏名・電話番号・写真の撮影場所・撮影日時をご記入のうえ、議会事務局へEメールか、郵送、または ご持参ください。

次号の応募締切

4月28日(水)

編集後記

コロナ禍で迎える初めての新年となりました。様々な制限の中で大雪となりましたが、雪かきと車のスタックに助け合う人々を至る所で見かけ、私もまた力の限り何台も車を押しました。やはり福井は雪国であり、車は四駆が良いと再認識しました。

市政においても1輪では力不足です。新型車両である「チームさばえ」も市民と企業、そして行政と議会が丸となって四駆で力強く進んで行きたいものです。

広報委員会では、今後も市民の皆さまに期待される紙面づくりを目指して頑張ってまいります。

広報委員 江端 一高

発行：鯖江市議会 ☎ 53-2249
E-Mail
SC-Gikai@city.sabae.lg.jp

編集：広報委員会

委員長 遠 藤 隆
副委員長 林 下 豊彦
委員 石 川 修
委員 佐々木 一弥
委員 空 美 英
委員 江 端 一 高

今号は、12月定例会の内容を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。